

# 145.新型コロナウイルス感染症流行が自殺関連行動による救急外来受診動向に与えた影響に関する調査

## 研究の概要

国立病院機構熊本医療センターに救急搬送された患者さまのなかで、自傷行為や自殺企図などが原因であった方について、病院受診日、年齢、性別などの情報を収集し解析します。

## 研究の目的と方法

新型コロナウイルス感染症が蔓延し、失業問題や社会的孤立など、精神健康を損ないやすい状態が生まれ、それがいまだに改善されず続いています。これまで国が自殺対策の主眼としてきたのは中高年男性、働き盛りの方のうつ病などをキーワードに展開されて来ましたが、パンデミック後はより幅広い層に支援が届くように改善を図る必要があります。そのためには自殺問題の実態調査が必要です。2018年1月から2021年6月までの期間を対象に、月別、性別、年代別の受診者動向を把握し解析することで今後の課題を明らかにしたいと考えております。

## 本研究の参加について

本研究により患者さまに新たに検査や費用の負担が生じることはありません。また、研究にて扱う情報は、個人が特定されない形で厳重に扱います。皆さまの貴重な臨床データを使用させて頂くことにご理解とご協力をお願いいたします。本研究にご自身のデータを使わないで欲しいと希望されている方、その他研究に関してご質問がございます際は、末尾の問い合わせ先までご連絡ください。

## 調査する内容

自傷行為や自殺企図などで救急搬送された患者さまの、受診日、性別、年齢を確認いたします。

## 調査期間

研究対象期間：2018年1月1日～2021年6月30日まで

研究実施期間：倫理審査委員会承認～2024年12月31日まで

## 研究成果の発表

九州精神神経学会での学術発表、他の学会誌への投稿を予定します。

## 研究代表者

精神科 レジデント 仁木啓斗

## 当院における研究責任者

精神科 部長 橋本 聡

## 問い合わせ先

精神科 部長 橋本 聡

電話 : 096-353-6501 (代表)